

# 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
久米南町	上弓削地区	令和4年3月8日	年 月 日

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	60.1 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	39.0 ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	12.8 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	6.7 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.0 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	-0.1 ha
(備考)	

## 2 対象地区の課題

地区内では50数名が耕作しており、そのうち水稲農家は約半数、多くが家の回りの急傾斜地を自家用に耕作している。農業者の高齢化が進んでいるが、後継者がいない。 地区内の人材だけでは活性化は厳しい。
---

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

鳥獣害対策、溜池、用水路、農道の維持管理できる体制を保ち、農地の維持を図る。
農地中間管理機構の活用を検討する。 他地区からの入作希望者がいれば、個人、法人関わらず農地の貸付・集約に協力する。

## 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

鳥獣害対策のワイヤメッシュ柵、溜池及び用水路、農道の維持管理をするためには、中山間地域等直接支払交付金制度、多面的機能支払交付金制度を活用できる体制を保つ。
集約化し効率的に利用できる農地等、優先して守るべき農地を地域で考える。
農業委員会、JA、農地バンクから協力を得る。 若者に地域の農地維持に参加してもらえるような経済的支援を求めていく。